

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



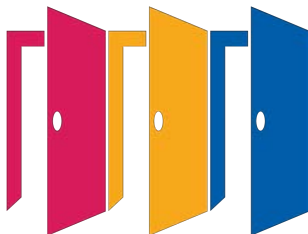
例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度R I テーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21年度厚木県央RC テーマ 「奉仕活動を通して地域社会に貢献する」

会長 高畑幸夫 副会長 神崎 進 幹事 能勢健一

第1022回例会(2020年8月7日)

■点鐘 …高畑幸夫会長

■斉唱 …君が代・奉仕の理想

■ゲスト紹介



劉 夢亭さん(米山奨学生)

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・8月ロータリーレート 1ドル=105円
- ・会員増強・新クラブ結成推進月間 リソースのご案内
- ・2020-2021年度 地区ロータリー財団セミナー及び第1回補助金管理セミナーのご案内
2020年9月19日(土)12：30～ミナパーク
- ・ロータリー財団ハンドブック電子版
- ・「米山月間」卓話についてお願い

◎厚木市役所 より

- ・「友好交流ニュースレター第29号」の送付について

◎厚木柔道協会 より

- ・厚木市柔道選手権大会中止のお知らせ

■幹事報告

◎例会変更

・大和田園RC

8月7日(金)→休会(定款第7条第1節(d)項(3)より)

8月14日(金)→取止め例会((定款第7条第1節(d)項(3)より)

8月21日(金)→休会(定款第7条第1節(d)項(3)より)

8月28日(金)→休会((定款第7条第1節(d)項(3)より)

■スマイル

高畑幸夫会長・能勢健一幹事

本日は、エンドポリオの歩みを学ぶ例会です。何事も継続する事が大切ですよ。公共イメージ委員会の皆様、佐藤拓也委員長、よろしくお祈いします。

公共イメージ委員会

佐藤拓也委員長・武藤元秀君・土屋義行君

山口昌興君・岸野義人君・神崎 進君・川名貴之君

今週は公共イメージ委員会の担当例会です。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

関原敏文君

米山奨学生であった、マハルジャン・サビン君が一人でネパールに古着を送り始めました。詳細を各テーブルに1セット置かせて頂きました。御一読頂きまして、古着を寄付…お願い致します。

松本 豊様

今年の高校野球は全く興味が沸きません。選手がかわい

そうとも思いますが、学校も6月頃迄休校だったので仕方ありませんね。我が母校日大三高も21世紀になって続けていた、都大会ベスト4も準々決勝で敗れ、途切れてしまいました。やはり甲子園という目標がないと気合いが入らなかったのでしょうか！

難波真奈美君

能勢幹事のご尽力で、我厚木県央RCのホームページがリニューアルされました。皆様ご覧になられましたか？スマホでも簡単に見れますので、どんどん活用しましょう！！

森 志朗君・森 正章君・荻野洋一君・岡見 健君

伊藤 一君・北村正敏君・和田貴樹君・新川 勉君

井 寛明君

スマイルBOX

■会長タイム



皆様、こんにちは。今日はロータリーとは関係のない話ですがお聞きください。

■例会「ポリオの歩みを学び、我々のクラブにできること」

担当：公共イメージ委員会 佐藤拓也委員長



本日は、ポリオの脅威をロータリーメンバーに再度認識してもらうために、「ポリオの歩みを学び、我々のクラブにできること」をテーマに考えました。

本来なら地区の詳しい人を選んで卓話してもらうのが一番良いのですが、誠に僭越ではございますが、私がさせていただきます。

ロータリーのテーマである、エンドポリオナウ、ポリオ根絶のため、あゆ祭りの時などに募金活動をしてきましたが、正直、私自身ポリオについて良く理解せずに募金活動を行って来ました。

現在、今まで経験のなかった新型コロナウイルス感染の恐怖を身近に感じたと思われまます。それと同様に日本では東京オリンピックの4年前(1960年)にポリオ感染の恐怖にさらされました。今ある脅威は忘れられつつある60年前の脅威と同じことだと思われまます。

ポリオはワクチンが開発されるまで世界各地で流行していました。

ポリオは古くから人類に存在していた感染症であったと考えられています。古代エジプトの壁画や、縄文時代の人骨などにも、ポリオの症状の特徴がみられるといわれています。ポリオ流行の記載は18世紀頃からみられ、1950年代まではしばしば世界各地で流行しました。その後、ワクチンが開発され、定期接種されることにより多くの国でポリオ患者は激減しました。WHOは、西暦2000年までに世界からポリオを根絶する計画をたて、地域流行のある国を中心にし

ナラ枯れと言いまして、BBQに使う炭やシイタケ栽培の原木になる木、またカブトムシが来るクヌギのきやシイの木、カシの木などの幹に穴をあけ侵入してカビ菌を伝染して枯死させる伝染病です。箱根当たりの山々ではすごい勢いで、増えております。小田原厚木道路を走っていてもあちこちで見受けられます。

またバッタの大群これは異常気象によりアフリカ砂漠に降らなかった雨をもたらし、草が増えバッタが異常繁殖して大群を増やしながら餌を求めて移動していきながらどんどん増えている状況です。異常気象による災害です。

もう一つはアメリカの大学研究員の発表でゾンビセミが増えているということで、これはセミ同士の交尾で伝染し体の3分の1が菌に入れ替わってどんどん増えるという人間でいえばエイズのような感じの病気です。

九州豪雨の大雨、新型コロナウイルスなど世界的におかしな問題が多くなってきております。今年も去年のような大きな台風が来ると思います。まずは頭の片隅に今までは違うという危機管理をもって生活していただければと思います。

今日の例会内容も公共イメージ委員長の佐藤拓也委員長の卓話例会です。ポリオのお話です。このポリオも実はポリオウイルスと言う伝染病の一つになります。

詳しくは後程佐藤委員長よりお話しがあると思います。お楽しみに！！それでは1時間宜しくお願ひいたします。

てポリオワクチンの定期接種を推進し、さらには、高危険地域では家庭訪問によるワクチン接種の徹底を行ってきました。

さて、日本におけるポリオは、1940年代頃から全国各地で流行がみられ、1960(昭和35)年に、ポリオ患者の数が5千人を超え、かつてない大流行となりましたが、生ポリオワクチンの導入により、流行はおさまりました。1980(昭和55)年の1例を最後に、現在まで、ポリオウイルスによる新たな患者は出ていません。

ポリオは、人から人へ感染します。

ポリオは、ポリオウイルスが人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染します。増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。衛生状態が悪いと感染する確率が上がります。成人が感染することもあります。乳幼児がかかることが多い病気です。最も多いのは汚染水を通じた感染です。

今でも、海外から、ポリオウイルスが国内に入ってくる可能性があります。海外では、依然としてポリオが流行している地域があります。みなさんご存じだと思いますが、パキスタン、アフガニスタンやナイジェリアです。

ポリオウイルスに感染しても、麻痺などの症状が出ない場合が多いので、海外で感染したことに気が付かないまま帰国(あるいは入国)してしまう可能性があります。症状がなくても、感染した人の便にはポリオウイルスが排泄され、感染のもととなる可能性があります。

先に述べましたが、日本では1980(昭和55)年を最後に新たな患者は出ていません。40年経過して当時のことを知る人が少なくなり、人びとの記憶から消えつつあります。

では、ポリオとはどういう病気？

ポリオウイルスによって引き起こされ、手足に急性麻痺が現れる病気です。かつては小児期の麻痺性疾患として代表的な病気であったことから、「小児麻痺」という別名が使われることもあります。

ポリオを発症した場合、現在の医療技術では完全に麻痺を治すことは困難です。そのため、ワクチン接種による予防が何よりも重要であり、定期接種が導入されている乳幼児はもちろん、流行地域へ渡航する際にも予防接種を受けることが推奨されています。

では、ロータリークラブはどのように携わってきたのでしょうか？

なぜ、ロータリーがポリオに関わったのかご存じでしょうか？

1979年9月29日、フィリピンのマカティにある保健センターで、ボランティアによる児童への経口ポリオワクチン投与が行われました。マニラ都市部でのこの活動は、ロータリアンとフィリピン保健省の代表者が手配しました。

当時のRI会長のジェームス L. ボーマー氏(1979～1980年)が最初のワクチンを子どもに投与し、フィリピンのポリオ予防接種活動を開始。これが、ロータリーの「保健、飢餓追放および人間性尊重 補助金」プロジェクトの第1号となりました。

この活動に先立ち、ボーマー会長とフィリピン保健省のガルシア長官が、760,000ドルかけて数年間で600万人の子どもにポリオ予防接種を行うという国際ロータリーとフィリピン政府の合意書に署名しました。

このプロジェクトの成功がきっかけとなって、「ポリオのない世界」をつくるのがロータリーの最優先事項となりました。ロータリーは1985年にポリオプラス・キャンペーンを発足させ、1988年にはGPEIの発足メンバーとなりました。

GPEIとはグローバルポリオ撲滅(Eradication)イニシアチブの略称で、1988年に、世界保健総会は、ポリオの世界的な根絶のための決議を採択し、できた団体がGPEIです。これには各国政府、疾病管理予防センター(CDC)、国際ロータリー、WHO、ユニセフが主導し、ビル&メリンダゲイツ財団からの多大な支援を受けています。

ロータリーとパートナー組織の懸命な取り組みにより、経口ポリオワクチンの投与を受けた子どもの数は、全世界で25億人以上になりました。

ポリオの根絶は、長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。パートナー団体とともに、122の国と地域で子どもにポリオ予防接種を行ってきました。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。

残るポリオ常在国は3カ国

2016年にポリオによる麻痺を発症した子どもの数は40名未満。これは、史上最少です。国際ロータリーがこの恐ろしい病気の世界的な撲滅活動を本格的に開始した1985年当時、発症数は世界125の国と地域で年に推定35万件でしたが、以来、大幅に減少しています。

今日、野生型ポリオウイルスが常在するのは、世界でわずか3カ国であり、これらの国の中でもわずかな地域に限られています。現在ポリオの症例が報告されている国は紛争地域で活動は困難だろうと想像します。

ナイジェリアでは、ウイルスが蔓延している地域を正確に突き止めるための監視活動が強化されました。しかしながらナイジェリア全土で、テロ事件や外国人の誘拐が発生する可能性があります。また、宗教・民族間対立や集落の土地をめぐる衝突、殺人、強盗、強姦等の凶悪犯罪が多発して活動が困難となっています。

パキスタンでの活動は、パキスタンの町、コハトにある交通量の多い料金所。ここで、3人のチームがワクチンの投与活動にあたっています。

ロータリーの青いベストを着たチームのかたわらには、銃を持って警護する兵士の姿があります。1台のバンが、雑然と群がる車の中から離れ、近くに停車しました。

チームメンバーの一人がドライバーに何かを尋ね、もう一人のメンバーが冷却容器からワクチンを取り出す準備をしています。ぎゅうぎゅう詰めの中のバンの中に、一人の子どもがいます。ポリオの予防接種を受けたことのない子です。

メンバーがその子の口にすばやく2滴のポリオワクチンを投与。予防接種を受けたことが分かるように紫のインクを小指につけ、泣く子どもを窓から車内に戻しました。バンが再び走り出し、車の群れの中へ消えていくと、メンバーは視線をほかの車へと移し、次の子どもを探しはじめました。

このような光景は、国内の交通要所で日に何千回と繰り返されます。移動する子どもたちにポリオワクチンを投与できるよう、国中のバス停留所、国境検問所、駐屯地、警察検問所が、即席の予防接種クリニックとなります。

アフガニスタンでは、イスラム過激派組織、タリバンなどのテロ組織が予断を許さない治安情勢にもかかわらず、できるだけ多くの子どもにワクチンを投与するために、現場が臨機応変に対応しています。

時事通信6月のニュースによると、「アフガニスタンでポリオ拡大の恐れ 新型コロナで予防接種中断」という記事があります。

この記事によりますと、ここ5年間ポリオの感染がなかった地域において再び感染が確認されたと発表した。新型コロナウイルスの感染拡大により、アフガニスタンでは定期的に行われていた予防接種が中断している。アフガニスタンのポリオ撲滅プログラムの広報担当によると、ポリオ患者がここ5年間いなかった地域で1人ずつ患者が確認された。

アフガニスタン全土で今年これまでに確認されたポリオ患者は14人で、2019年の26人よりは少ないものの、3州での感染発覚により懸念が高まっている。新型コロナによってポリオが国内全域に広まる恐れが出ている。

アフガニスタンでは例年、最大10回のポリオの予防接種運動が行われているが、今年は新型コロナの感染拡大前に行われた2回のみです。

旧支配勢力タリバンや宗教指導者らは、ワクチンがイスラム教徒の子どもたちを不妊にする西側諸国の陰謀で、予防接種運動はスパイ活動として行われていると主張しています。ロータリアンがタリバンに狙われる理由がここにあります。

最も効果的なポリオ対策は、当局による各家への訪問および予防接種の実施となるが、タリバンの支配地域ではこれが禁じられているようです。

この三国に共通することは、内戦やテロによる紛争地域ということです。

紛争地域で活動するとすると、護衛が必要となります。民間の護衛を雇うとテロ組織と内通者がいて誘拐などの犯罪に巻き込まれる恐れがあるため、軍に護衛を依頼しなければなりません。民間に頼んでも軍に頼んでも多額の資金が必要となります。

ポリオ撲滅に必要な費用は15億ドル。約1,600億円

これは高額に思えるかもしれませんが、効果のあるポリオワクチンを最初に開発したジョナス・ソーク医師の言葉を借りると、「人にとってのお金の価値と、お金で救える人の価値と、どちらが大事か」という問題になります。

ポリオ撲滅プログラムがこれまでに達成してきた大きな功績の多くは、資金があったからこそ可能となったものです。ポリオ撲滅に投入する資金は、将来的にほかの保健問題にも役立てられます。また、ポリオ撲滅プログラムで得られた知識、教訓、財産が、ほかでも生かされているのです。

もちろん、まだ課題は残っており、資金調達も続けなければなりません。しかし、ボランティアや会員の尽力によって、ポリオ撲滅という目標は必ずや実現できると私たちは信じています。ジャッキーやジャックも言っています。ポリオのない世界まで、あと少しです。

私たちロータリアンは、史上2番目に疾病を撲滅するチャンスをつかもうとしています。史上1番目に撲滅に成功し

たのは天然痘です。人類が根絶した唯一の感染症。

1980年WHOが天然痘の世界根絶宣言をしました。

国際ロータリーが掲げているテーマがあります。先に述べたとおり、最前線で活躍している人たちは命懸けで活動しています。最前線にいない我々にもできることが3つあります。

“時間”をささげる

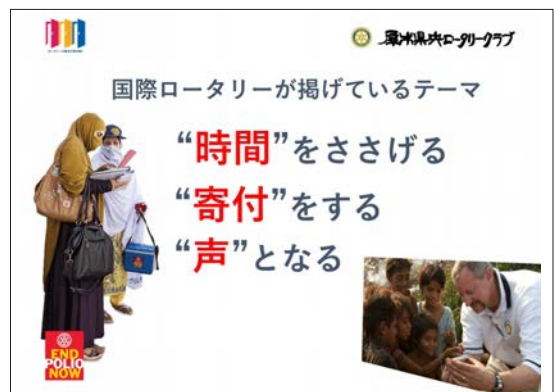
一つの疾病を世界からなくすには甚大な努力が必要とされ、ロータリーとそのパートナー団体だけで実現できることではありません。皆さんの力を貸してください。

“寄付”をする

ポリオ根絶は間近にせまっていますが、ここからが正念場となります。今後も子どもたちにワクチンを投与し、サーベイランスを強化できるよう、ポリオ撲滅活動へのご寄付にご協力ください。

“声”となる

ポリオ根絶の重要性を伝える“声”となり、多くの人にメッセージを届けましょう。



■ 四つのテスト



荻野洋一君

■ ソングリーダー



和田貴樹君

■ 出席報告



会員組織委員会委員長 森 志朗君

■ 厚木市柔道大会報告



春日清則君

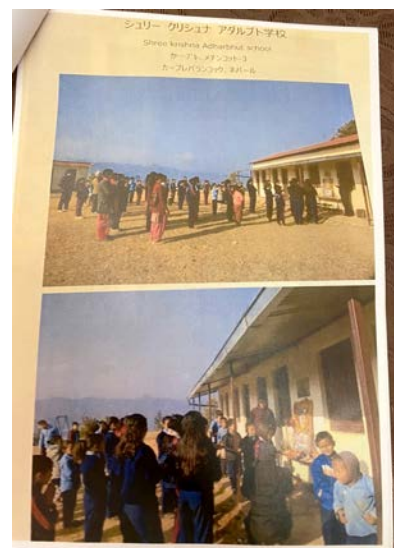
■ ネパール報告



関原敏文君

嬉しい事があったので長文報告させていただきます。
 お問い合わせです！

関原敏文
 3年前に等々クラブの東山奨学生であったマハルジャンサンですが、元教師の夫と結婚して新居に住んでいます。何と、来年3月に子供が生まれる予定だそうです。
 親の土地を売却し、更にネパールの銀行から借金をして日本にやってきました。彼と知り合ってからこの事を知り、高額の金利を払われている事に驚きました。そこで私は残額 200 万円を一括返済しました。少ない給料ですが、月々5 万円をキチリと返してくれています。苦しい経済状況にありながら彼は、ネパール在住の友人教団に頼まれ、2つの学校に古物を送り始めました。この古物の送料ですが、20kg の程が月に2万円弱です。彼はこれを個人財にスタートしていたのです。この学校は、ネパール空軍から30km 離れた学校です。この古物を友人宅に送ります。この友人は、途中でバイクで行き、あとは歩いて山一つ越えて学校まで運びます。山間部の学校なので出来れば冬が来る前に送って欲しいとの事でした。私個人は、友人や知人のメンバーと一緒に協力をお願いします。送料は自己負担する予定です。出会った時のサンは、自分の事と金儲けの事にしか興味がなかったのですが、この度わが国には驚かされました。これも日本のロータリー独自の東山奨学生制度と、厚木県央RC の皆さんのお陰様です。
 これだけではありませんでした。彼は別の友人の小学校4 年生の娘の授業料1ヶ月 600 円を負担していたのです。日本の様国からの補助はありません。給食もあります。片道 3 時間もかけて学校に行き、お昼ごはんを食べずに帰宅します。娘の作業はアフリカパタに食べられ、コロナの影響もあって仕事が減っている中で、この小学生の両親も仕事を失ってしまっていたのです。食べるものも苦労している状況です。サンが頑張りました。『彼が日本に居る間は大丈夫ですが、ネパールに帰ってしまったら娘の授業料を負担出来なくなってしまいます。関原さん、その時はお願いできませんか？』と聞いてきました。『俺はお金がないので、俺の奥さんが現地を視察してから考えてくれると言ってくれました』と答えています。…送額さんと始めた、大学生 2 名の授業料を負担…その延長線にありますので、彼の奥さんが立ち上がったって次第です。
 厚木県央 RC の皆さんに、着なくなった冬物の古着等御座いましたらご寄付頂ける様に取り計らって頂けませんでしょうか？名前入りのジャージ等大歓迎です。できればクラブの名前で送ってあげたいと思っております。宜しくお願い致します。



■ 出席報告 <会員 38 名、出席対象 38 名>

7 月 17 日例会	確定出席率 84.21 %	8 月 7 日例会	出席 25 名 欠席 13 名 出席率 65.79 %
		事前メイク： 白井欽一君(8月7日/理事会)	